

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

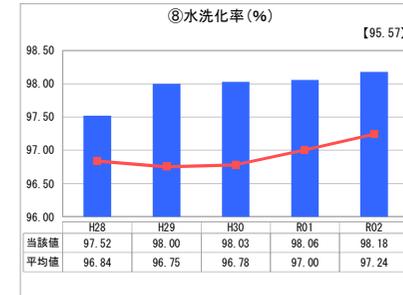
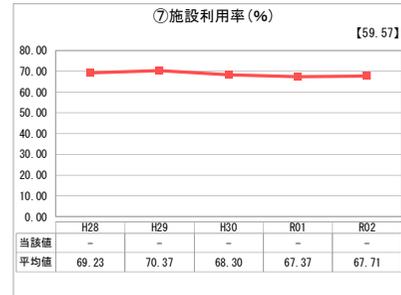
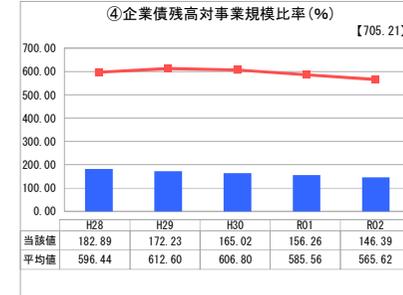
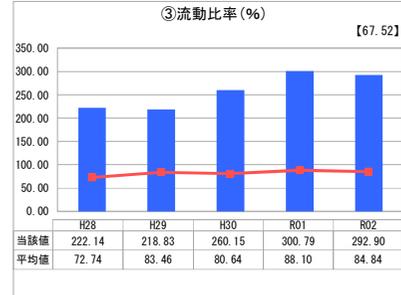
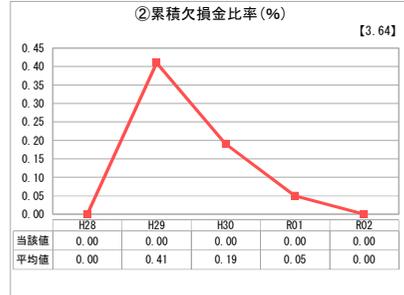
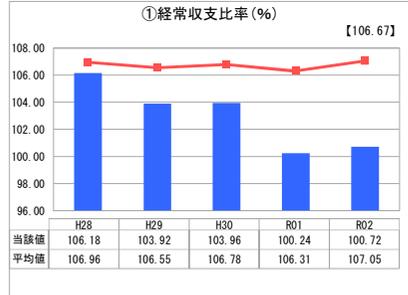
埼玉県 川越市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ab	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	79.73	88.69	68.60	1,595

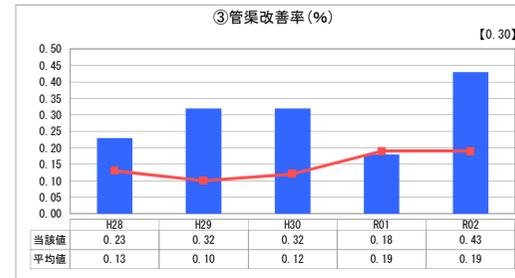
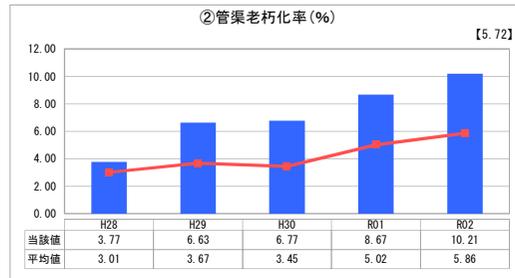
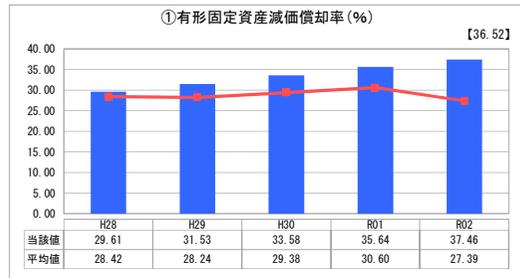
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
353,260	109.13	3,237.06
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
313,462	38.09	8,229.51

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[ ] 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率  
梅雨の長雨等の影響で、例年よりも流域下水道の維持管理に関して多くの費用を要したこともあり、数値が低くなっています。気候変動や生活環境の変化に応じた対策が必要です。

② 流動比率  
高い水準を維持しており、短期的な支払能力を確保できています。

③ 企業債残高対事業規模比率  
類似団体より低い傾向ですが、世代間負担を考慮した適正な水準について今後も検討が必要です。

④ 経費回収率  
令和元年度から汚水処理費の算出方法を見直したこともあり、梅雨の長雨等の影響により費用が増加したこともあり、100%を下回りました。今後想定される施設の維持や修繕等に要する費用を見込んだ適正な使用料単価の水準を検討する必要があります。

⑤ 汚水処理原価  
令和元年度から汚水処理費の算出方法を見直したこともあり、梅雨の長雨等の影響により費用が増加したこともあり、これまでより数値が上昇しました。今後も経費の削減に努めるとともに、不明水対策等を進めていく必要があります。

⑥ 水洗化率  
類似団体を上回っていますが、引き続き普及の促進に努めていきます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率  
類似団体よりやや高く、上昇傾向にあります。施設の老朽化が進みつつあることから、計画的、効果的な償却対象資産の更新等を行う必要があります。

② 管渠老朽化率  
類似団体より高く、上昇傾向にあります。これから更新時期を迎える管きょが多く、老朽化率がさらに高くなることを見込まれるため、計画的、効果的に更新等を進めていく必要があります。

③ 管渠改善率  
令和元年度から繰り越しとなった工事が令和2年度に完成したため、管きょ改善率が上昇しました。今後も計画的に更新を行い老朽化対策を進めていく必要があります。

### 全体総括

経常収支比率や経費回収率については、前年度よりも改善しましたが、類似団体よりも低い傾向が続いています。今後も動向を注視し、対策を検討していく必要があります。

また、管路や保有資産の老朽化が進んでいるため、川越市上下水道ビジョンや川越市上下水道事業経営戦略に基づき、中長期的な視点に立ち、資産を健全に保つための点検・調査の実施や有収率を向上させるための不明水対策等を引き続き講じる必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。